

#### 第4 芸術系学科（美術科、音楽科、書道科、映像芸術科及び舞台芸術科）、体育科、スポーツサイエンス科、体育コース及び外国語科・外国語コース等の実技検査

##### 1 実施日

令和5年2月24日（金）に実施する。集合時刻は、原則として午前8時45分とする。ただし、「追検査受検願」（様式16）を提出した志願者は、受検できない。

##### 2 内容等

###### (1) 芸術系学科（美術科、音楽科、書道科、映像芸術科及び舞台芸術科）

###### ア 県立松伏高等学校

###### 音楽科の実技検査の種目及び内容等

次のa、bのうち、1つを選び受検する。

###### a 声楽

次の①、②のうち、1つを選び、出願時に申告する。

① 歌曲独唱 ② ミュージカル作品の独唱と身体表現

###### b 器楽

次の①～④のうち、1つを選び、出願時に申告する。

① ピアノ ② 管楽器 ③ 弦楽器 ④ 打楽器

###### イ 県立越生高等学校

###### 美術科の実技検査の内容等

鉛筆による素描

###### ウ 県立芸術総合高等学校

###### (ア) 美術科の実技検査の内容等

鉛筆による素描

###### (イ) 音楽科の実技検査の種目及び内容等

次のa、bのうち、1つを選び、出願時に申告する。

###### a 声楽

###### b 器楽

次の①～④のうち、1つを選び、出願時に申告する。

① ピアノ ② 管楽器 ③ 弦楽器 ④ 打楽器

###### (ウ) 映像芸術科の実技検査の内容等

言葉から発想したイメージを絵と文章で表現する。

###### (エ) 舞台芸術科の実技検査の内容等

次のa及びbを受検する。bは(a)、(b)のうち、1つを選び出願時に申告する。

a及びb (a)の課題は出願時に配布する。

###### a 共通課題

① 指定された詩、又は文章を朗読する。

② 指示された基本的な動作を指定されたエリアで行う。

###### b 選択課題

###### (a) 演劇表現

出願時に配布される課題に基づいて音声、身体を使って表現する。

###### (b) 舞踊表現

2分以内で舞踊を行う。

次の①～⑤のうちから1つを選び、出願時に申告する。

① バレエ（クラシック、モダンに限らない）

② 洋舞全般（モダンダンス、コンテンポラリーダンス、ジャズダンス、ヒップホップなど）

③ 各種民族舞踊（日本舞踊を含む）

④ 身体表現運動（体操、新体操など）

⑤ その他創作ダンス

エ 県立大宮光陵高等学校

(7) 美術科の実技検査の内容等

鉛筆による素描

(1) 音楽科の実技検査の種目及び内容等

次のa、b、c、d、eのうち、1つを選び、①と②を受検する。

a 声楽

① 声楽

② ピアノ

b ピアノ

① ピアノ

② 聴音

c 管楽器、d 弦楽器、e 打楽器

① 各楽器の演奏

② ピアノ又は視唱

(ウ) 書道科の実技検査の種目及び内容等

次のaとbを受検する。

a 漢字の書（毛筆による表現）

b 仮名の書（毛筆による表現）

(2) 体育科

アについては全種目を受検する。

イについては①～③群から2群を選び、さらにそれらの群から各1種目を選択して、合計2種目を受検する。

ア 体力に関する検査種目（スポーツ庁の示した「新体カテスト実施要項」による。）

① 反復横とび ② 立ち幅とび ③ 上体起こし

イ 技能に関する検査種目

① 器械運動・陸上競技群

㊦ マット運動 倒立前転と後転

㊧ 跳び箱 男子は縦向き6段開脚跳び、女子は縦向き5段開脚跳び

㊨ 鉄棒 男子はけ上がり、前方支持回転

女子は逆上がり、前方支持回転

㊩ 短距離走 クラウチングスタートからのスタートダッシュ

② 球技群

㊰ バレーボール 対人パスと対人レシーブ、スパイク

㊱ バasketボール ドリブルシュートとセットシュート又はジャンプシュート

㊲ サッカー パス&コントロールとドリブルシュート

㊳ ソフトボール キャッチボールとトスバッティング

③ 武道群

㊴ 剣道 切り返しと基本打突

㊵ 柔道 受け身と約束練習

(3) スポーツサイエンス科

アについては全種目を受検する。

イについては①～③群から1種目を選択して受検する。

ア 体力に関する検査種目（スポーツ庁の示した「新体カテスト実施要項」による。）

① 反復横とび ② 立ち幅とび ③ 上体起こし

イ 技能に関する検査種目

① 器械運動・陸上競技群

㊦ マット運動 側方倒立回転から倒立前転

㊧ 走り幅跳び 助走から踏切、着地

㊨ 短距離走 50m走 スタートからゴールまで

- ② 球技群
  - ㊦ バレーボール 対人パスと、スパイク又はサービス
  - ㊧ バasketボール ドリブルシュートと、セットシュート又はジャンプシュート
  - ㊨ サッカー トラッピングとドリブルシュート
  - ㊩ ハンドボール ドリブルからのジャンプシュートと1対1からシュート
  - ㊪ ソフトボール キャッチボールとトスバッティング
- ③ 武道・ダンス群
  - ㊦ 剣道 切り返しと基本打突
  - ㊧ 柔道 受け身と約束練習
  - ㊨ ダンス 与えられたテーマでの1分間の創作

(4) 体育コース

アについては全種目を受検する。

イについては①～③群から2群を選び、さらにそれらの群の㊦～㊨から各1種目を選択して、合計2種目を受検する。ただし当該高等学校長は、②群で選択する種目に㊩を加えることができる。

また、当該高等学校長は、④群㊦、㊧又は④群㊧、㊨もしくは④群㊦～㊨を加えることができる。その場合は、①～④群から2群を選び、さらにそれらの群から各1種目を選択して、合計2種目を受検する。

ア 体力に関する検査種目（スポーツ庁の示した「新体カテスト実施要項」による。）

- ① 反復横とび
- ② 立ち幅とび
- ③ 上体起こし

イ 技能に関する検査種目

- ① 器械運動群
  - ㊦ マット運動 倒立前転と後転
  - ㊧ 跳び箱 男子は開脚跳び、女子はかかえ込み跳び
  - ㊨ 鉄棒 男子はけ上がり前回り下り、女子は膝掛け上がり前回り下り
- ② 球技群
  - ㊦ バレーボール 対人パスと、スパイク又はサービス
  - ㊧ バasketボール ドリブルシュートとセットシュート
  - ㊨ サッカー トラッピングとドリブル
  - ㊩ ソフトボール キャッチボールとトスバッティング
- ③ 武道・ダンス群
  - ㊦ 剣道 切り返しと基本打突
  - ㊧ 柔道 受け身と約束練習
  - ㊨ ダンス 与えられたテーマでの1分間の創作
- ④ 陸上競技群
  - ㊦ 50m走
  - ㊧ 800m走
  - ㊨ ハードル走

(5) 外国語科・外国語コース等

ア 内容

英語による問答等

イ 方法

(ア) 実施する高等学校長は、中学校学習指導要領に基づいて、英語による音読及び問答等の内容を定める。

(イ) 志願者に対して個々に行う。

(ウ) 実施時間は、1人につき5分程度とする。

(6) 県立伊奈学園総合高等学校のスポーツ科学系及び芸術系

次のア～エから1つ選択し受検する。

ア スポーツ科学系

(ア)については、全種目を受検する。

(イ)については、①～③群から2群を選び、さらにそれらの群から各1種目を選択して、合計2種目を受検する。

(ア) 体力に関する検査種目（スポーツ庁の示した「新体力テスト実施要項」による。）

- ① 反復横とび      ② 立ち幅とび      ③ 上体起こし

(イ) 技能に関する検査種目

① 器械運動・陸上競技群

ア マット運動 男女共通 倒立前転、側方倒立回転、伸膝後転

イ 跳び箱 男子 縦向き6段開脚跳び  
女子 横向き5段かかえ込み跳び又は開脚跳び

ウ 短距離走 50m走

② 球技群

ア バレーボール 対人パスと、レシーブ

イ バasketボール ドリブルシュートと、セットシュート又はジャンプシュート

ウ サッカー トラッピングとドリブル、シュート

エ ハンドボール フェイントからのジャンプシュート

オ ソフトボール キャッチボールとティーバッティング、ベースランニング

③ 武道・ダンス群

ア 剣道 切り返しとしかけ技

イ 柔道 受け身と約束練習

ウ ダンス 1分間の創作

イ 芸術系のうち音楽

(ア) 検査種目

次のa、bのうち1つを選び受検する。

a 声楽

日本歌曲、イタリア歌曲、ドイツ歌曲の中から任意の1曲を原語で歌う。

b 器楽

次の①～④のうち1つを選び受検する。

① ピアノ 下記のアイを順に演奏する。イは楽譜を見て演奏してもよい。

ア ハノンピアノ教本39番の調号1つまでの調性より当日指定された調性

イ 任意のピアノ・ソナタの第1楽章又は終楽章

② 管楽器 } クラシック作品の中から任意の独奏曲又は練習曲。  
③ 弦楽器 } 楽譜を見て演奏してもよい。  
④ 打楽器 }

(イ) 検査時間等

a 検査時間は1人2～3分程度とする。

b 演奏に際して楽譜を見てもよい。

c 打楽器は小太鼓又はマリンバとする。

d 伴奏については、声楽のみ高等学校の担当者が行う。これに使用する楽譜は、入学願書と併せて出願時に提出する。声楽以外は無伴奏とする。

ウ 芸術系のうち美術、工芸

鉛筆による素描

エ 芸術系のうち書道

毛筆による書写

### 3 その他

- (1) 詳細は当該高等学校の募集要項に定める。
- (2) 急病その他やむを得ない事情により実技検査を受けられないときは、その事由を証明する書類を、出身中学校を経て、当日までに志願先高等学校長に提出しなければならない。
- (3) 追検査では実技検査は実施しない。
- (4) 新型コロナウイルス感染症に関する実技検査受検の扱いについては、第3の17（9ページ）に準ずる。